



学校だより

12月号

令和4年11月30日

笑顔であふれる学校に

校長 青木 和裕

本校では、12月1日から人権週間が始まります。今年は、朝会で「ともだち」(くすのきしげのり作 よしむら めぐ絵 小学館 2022年3月発行)の読み聞かせを行いました。

自分の思うようにならないと、相手の事情も考慮せずに、相手を責めてしまうということを、人はしてしまいがちです。この本の主人公の女の子。隣の家に越してきた男の子は、こちらが挨拶をしているのに、返事もしてくれない。しまいには、指を曲げる仕草を繰り返す男の子に、意地悪な顔をしてしまいます。ところが、その男の子は、耳が不自由で、手話で「こんにちは」と挨拶をしてくれていたことを知り、女の子はショックを受けます。この女の子のえらいところは、落ち込んで終わるのではなく、何とかしようとする力、自分の非を認める素直さ、自分の行動で局面を打開しようという勇気があるところです。母親から、「ごめんなさい」の手話、そして、「ともだち」の手話を教えてもらい、会話をする中で、自分も、周りの人も、みんなが笑顔になりました。

相手のことを思いやる、優しい言葉、表情、行動。これから、さらに笑顔であふれる二つ橋小学校になるよう願っています。

